

## 水資源機構で 出前講座を開講



県環境技術センターは、7月15日(水)に、地域の水環境保全に関する出前講座を実施した。

この出前講座は、独立行政法人水資源機構旧吉野川河口堰管理所からの依頼により実施したものである。

今回は、センターホームページの環境学習・CSR活動を見た水資源機構の方から、生活排水処理についての出前講座を実施して欲しいという要望により、センターの西岡検査課長兼技術指導リーダーが講師を務め、「私たちの水環境を守るために」という演目で座学講座と、「CODパケットテストを使った生活排水の汚れ調べ」の実験講座を実施した。

当日は、水資源機構職員の方と、近隣市町職員の方計23名が受講されたが、日頃から水環境に関する業務に携わっている方が対象であったため、非常に熱心に取り組んでいた。

座学講座では、①徳島県の水資源について、②水質保全の政策、③污水处理施設について、地域の現状について、の演題で、具体的な資料により詳しく説明を行った。

実験講座では、日ごろ台所等で排水しているような、日本酒・みそ汁・牛乳・コーラ（カロリーゼロとの2種類）を希釈して、CODパケットテストを使ってCOD値を測定した。

テキストは、今回の講習のために作成した分かり易い内容であったため、受講した方は、地域の水資源および生活排水処理がどうなっているか、などが十分に理解されたようであった。

特に実験講座では、日頃何気なく流している、生活雑排水や液体食品の汚れの大きさを理解してもらう事が出来た。

座学・実験と併せて、センターが従前より実施している、アサリの浄化実験もおこなったが、視覚的な効果が大きい実験で、受講者の方は驚きを持って観察していた。

センターでは、県水・環境課との共催で小中学校対象には出前講座を実施しているが、社会人対象の講座は今年度に入っては初めてであったが、好感触であった。

これまでは、このような出前講座は、申込みをいただく機会が少なかったが、今回の講座を実績として、今後は一般向けにも充実した講座をより積極的に展開していきたいと考えている。



## 県立図書館で 環境講座を開講



県環境技術センターは、平成27年7月22日(水)、徳島県立図書館3階集会室において、県水・環境課と県建設技術センターとの共催で夏休み子供環境学習講座を開講した。



この講座は県立図書館から夏休みを利用して親子で水の大切さを知ってもらおうという趣旨の依頼を受けて開催しており、今年で3回目となる。当日は親子合わせて45名が参加した。

講座内容は、まず水・環境課から「汚水のおはなし」と題して、人間にとって水は限られた資源であることやその資源が地球全体で循環していること、使った水がどれだけ汚れているのか、私たちが生活で汚した水は浄化槽や下水道でキレイに処理していることなどを分かり易く解説した。

続いて建設技術センターから「下水道のお話」と題して、旧吉野川浄化センター「アクアきらら月見ヶ丘」の施設の説明やどのように汚水を処理しているのかを解説した。

環境技術センターからは従前より実施している「模型のアメンボによる水の汚れ調べ」を実施し、水を汚すことによって生物はどうなるのか、ということを実験を通して体験してもらった。また、それと並行して「アサリの水浄化実験」も行い、自然では、生物が水を浄化していることを知ってもらった。

参加した子供たちは、興味深くまた楽しそうに取り組む、最後の質問コーナーでは様々な質問が飛び出て、終始にぎやかな講座となった。

環境講座は、キレイな水環境を残すために将来を担う子供たちを育成することを目的としているが、そういった意味では今回は非常に有意義なものとなった。